

今回報告の定例会は



たてやま議会だより

令和7年9月号



明神丸

未来に残したい館山の風景



館山のまつり

第2回
臨時会正副議長選出
新体制スタート！
議長 鈴木 正一 議員
副議長 倉田 孝浩 議員

5月19日に開催された令和7年第2回臨時会では、正副議長のほか、各組合議会の議員や、議会運営委員会、各常任委員会などの委員を選出し、議長には鈴木正一議員、副議長には倉田孝浩議員が選出されました。各委員会の構成は下記のとおりです。

また、市長提案の議案6件の審議を行い、全ての議案を承認・可決・同意しました。議案の主な内容は次のとおりです。

- ◇議案第32号 館山市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について
- ◇議案第33号 館山市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について
- ◇議案第34号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について
 - ・地方税法等の一部を改正する法律及び半島振興法の一部を改正する法律が国会において成立し、3月31日に公布されたことに伴い、館山市市税条例等を改正する必要性が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものです。
- ◇議案第35号 和解について
- ◇議案第36号 館山市教育委員会委員の任命について
- ◇議案第37号 館山市監査委員の選任について
 - ・監査委員に新たに、石井敬之議員を選任するものです。

原案
可決

議長 鈴木 正一 副議長 倉田 孝浩

就任ご挨拶

鈴木 正一 議長

この度、議員各位の推挙により議長に就任いたしました。財政をはじめ館山市の状況は大変厳しいものですが、私にできること、皆様と一緒にできることをひとつずつやっていき、市政の振興に努めてまいります。

倉田 孝浩 副議長

皆様のご協力をいただきながら議長を補佐し、円滑な議会運営、議会の更なる活性化に向けて努めてまいります。

議会の構成 (◎委員長、○副委員長)

議長 鈴木 正一 副議長 倉田 孝浩

総務委員会委員 (6人)

◎鈴木ひとみ ○鈴木 明子 長谷川秀徳
石井 敏宏 太田 浩 鈴木 正一

文教民生委員会委員 (6人)

◎望月 昇 ○本澤栄里子 東 洋平
渡辺 雄二 石井 敬之 鈴木 順子

議会運営委員会委員 (9人)

◎鈴木 順子 ○石井 信重 渡辺 雄二
本澤栄里子 鈴木 明子 長谷川秀徳
望月 昇 石井 敬之 太田 浩

建設経済委員会委員 (6人)

◎瀬能 孝夫 ○佐野 聖一 安田 邦春
倉田 孝浩 石井 信重 秋山 光章

広報広聴委員会委員 (8人)

◎倉田 孝浩 ○東 洋平 安田 邦春
佐野 聖一 鈴木ひとみ 石井 敏宏
瀬能 孝夫 秋山 光章

第2回例会

案決
原可

一般会計補正予算 ほか 館山小学校工事契約・条例改正などを議決

令和7年第2回6月定例会は6月6日に招集され、6月26日までの21日間の会期で開催し、市長提案の条例議案2件、一般議案8件、補正予算議案1件、人事案件3件、請願2件、発議案件2件を審議しました。

初日に、館山小学校統合改修工事に係る契約案件1件を先議し、原案どおり可決しました。その他の議案9件と請願2件は、所管する常任委員会に審査を付託しました。

12日及び13日は、9人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えを問いました。

19日は一般議案、補正予算について質疑を行いました。最終日には各委員会の審査結果が報告され、その後、文教民生委員会提出の発議案及び追加の人事案件の審議を行いました。

最後に討論、採決を行い、全ての議案を原案どおり可決し、閉会しました。

6月定例会に提案された主な議案と委員会の審査内容を紹介します。

◇議案第46号 工事請負契約の締結について【先議】

館山小学校統合改修工事に係る総合評価一般競争入札の結果、白幡興業株式会社が、16億2千206万円をもって落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするものです。

工事内容は、館山市立小中学校再編計画に基づく統合校開校に向けて、老朽化した校舎等施設の改修、設

備更新等を行うもので、工期は令和9年3月12日までとなっております。

本会議・補正予算質疑

◇議案第45号 令和7年度館山市一般会計補正予算(第1号)

問 飼料高騰緊急支援給付金の給付基準について、乳牛、肉牛、豚、鶏それぞれの1日にかかる飼料代はいくらでしょうか。

また、給付金支給までの詳細なスケジュールを伺います。

答 1日当たりの飼料代について畜産業者に聞き取りをしたところ、1頭当たり、乳牛は約1千500円、肉牛は約1千円、豚は約1500円、鶏は1羽当たり約7円と伺っています。

給付金支給のスケジュールは、補正予算成立後、直ちに支給対象者へ申請書を送付し、8月末日を期限に給付申請を受け付ける予定です。

常任委員会

3つの委員会が所管する部門や事務に関する調査、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

- 委員長 鈴木ひとみ
- 副委員長 鈴木明子
- 委員 徳川秀一
- 委員 石井敏正
- 委員 太田鈴木



総務委員会には、2件の議案が付託され、議案は慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案等の質疑応答は次のとおりです。

◇議案第45号 令和7年度館山市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億1千835万3千円を増額し、総額220億2千35万3千円とするものです。

問 職員採用ポータルサイト費に関して、プラットフォームサービスの導入により、職員の負担はどの程度軽減されるか伺います。

答 今まで行っていた業務が、半分程度に削減されるのではないかと考えており、今年度の導入結果を検証したうえで、効果が高いようならば、翌年度以降も継続したいと考えています。

問 重点支援地方交付金(不足額給付)に関して、個別申請の必要がある対象者に、市から通知をするのか伺います。

答 所得税を基に給付要件を確認することになるが、市で詳細を把握することは困難であることから、自己申請が基本となります。市の広報やSNS等を活用し、申請の周知に努めます。



議
先とは?

査日の会と審決急、こす。会採緊りるま員た、よすい委員が、由議と案定ま理で議予しの中議常、て決等途先通をに場期を

問 コミュニティ医療活動支援補助金に関して、補助事業により市民が得られる医療の充実・強化とは何か具体的に伺います。

答 安房医療福祉専門学校への運営補助であり、過去9年間の卒業生293名のうち、およそ3分の2にあたる209名が、卒業時に市内の医療機関に就業しています。

問 飼料高騰緊急支援給付金に関して、対象者数と通知方法を伺います。

答 対象は、市内に住所及び畜舎を有している事業主であり、全体で14件、うち4件が法人です。通知は郵送により行います。

問 神余小学校1階女子便所改修費に関して、寄附金を財源としているが、寄附者の意向なのか伺います。

答 寄附の時点で指定はありませんでしたが、学校からトイレの洋式化の要望があり、寄附者の承諾を得たうえで事業化しました。

◇議案第48号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 本条例改正は、国・県・市の全ての選挙に適用されるのか。また、報酬等の費用はどこが負担するのか伺います。

答 本条例改正は、国・県・市の全ての選挙に適用するものです。国・県の選挙は国及び県からの委託金があります。市の選挙は市の負担となります。

文教民生

委員長 子 平二之子
里 洋雄 敬順
副委員長 東 渡 石 鈴木

文教民生委員会には、1件の議案と2件の請願が付託され、慎重審査の結果、全ての議案及び請願について、全員一致をもって可決・採択されました。主な質疑応答及び討論は次のとおりです。

◇議案第38号 指定管理者の指定について

問 修繕が必要となった場合の、市と指定管理者の負担割合や責任分担を伺います。

答 1件5万円以上の修繕は、市で行うと定めています。

問 施設の老朽化の状態を伺います。

答 指定管理者が日常的な点検を行い、不具合があった場合は早期に報告・対応しています。今年度は雨漏りがあつたため、屋根の雨漏り修繕及び全面塗装を行いました。

問 過去にはスポーツ合宿での利用があり、現在は利用がないが、今後の利用について伺います。

答 市内にスポーツ合宿を行っている宿泊施設があり、指定管理者とともに今後の相談をしています。



【討論】 請願第8号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

本会議

【反対討論】石井敏宏議員

他の地方公務員の給与は、全て地方交付税措置されており、教職員だけが国からの補助金があるというのは、制度設計として複雑でわかりづらいものです。他の地方公務員と全て同じ仕組みにして、そのうえで地方交付税の基準財政需要額を増やし、他の補助金も充実させて対応するのが望ましいと思ひ、反対します。

本会議

【賛成討論】石井信重議員

かつては教材費など多くの経費が対象となっていたものの、今では給与費のみとなっており、義務教育を保障するという観点から、財政の最低保障として下支えをしている義務教育費国庫負担制度は必要不可欠な制度です。国においては教員の人数を増やす施策を先行し、義務教育の円滑な推進がされるよう義務教育費国庫負担制度の堅持を強く求め、賛成します。

建設経済

委員長 夫 孝一 春重章
長 聖 邦信光
委員 能 野 田 井 山
副 佐 委 安 石 秋

建設経済委員会には、6件の議案が付託され、慎重審査の結果、全ての議案について、全員一致をもって可決・採択されました。主な質疑応答及び討論は次のとおりです。

◇議案第39号 三芳水道企業団規約の変更に関する協議について

◇議案第41号 三芳水道企業団の解散に関する協議について

問 三芳水道企業団の解散の要因である水道事業の統合の課題と効果を伺います。

答 安房地域の各水道事業体は、運営基盤の脆弱性等の問題を抱えているが、それらの課題に対応するために統合し、課題の解決に取り組んでいきます。

統合の効果としては、国の交付金を活用した施設整備



により、効率的な施設配置にすることで整備費用が縮減でき、施設の再編を行わない給水区域についても、連絡管の整備等により、災害時の断水リスクを減少させる効果が見込まれます。

また、統合後は積極的な独自の採用により、若手職員の育成を通じて技術の継承を図り、機動的な人員配置を行うことで、災害対応力の強化が見込まれます。

水道料金の上昇抑制効果については、統合しない場合と比べて、給水収益ベースで約126億円の上昇抑制効果があると見込まれます。

◇議案第42号 南房総広域水道企業団の解散に関する協議について
◇議案第43号 南房総広域水道企業団の解散に伴う財産処分に関する協議について
◇議案第44号 南房総広域水道企業団の解散に伴う事務の承継並びに決算の審査及び認定の方法に関する協議について

問 南房総広域水道企業団の解散の要因である水道事業の統合の課題と効果を伺います。

答 給水人口の減少等に伴う有収水量の減少、施設等の老朽化、技術職員の不足や経営状況の悪化等の課題を抱えており、それらの課題に対応するため統合に取り組みます。

施設に対しての効果としては、老朽化対策事業や耐震化事業による、浄水施設や管路の耐震化や耐震適合率の上昇が見込まれます。

組織体制の効果としては、千葉県による技術職員の一括採用や、県営水道のノウハウの共有による技術職員数や技術力の確保、老朽化対策事業や耐震化事業の着実な実施が見込まれます。

水道用水供給料金に対する

効果としては、統合しない場合は収益性の悪化などにより大幅に供給単価が上昇する見通しですが、統合に伴う国の交付金や千葉県の繰出金などにより、改定上昇幅の抑制が見込まれます。

◇議案第40号 館山市ジビエ加工処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 ジビエ加工処理施設の処理状況について伺います。

答 令和7年4月から6月20日までの猪の処理は132頭です。1日の処理量としては、概ね5頭程度が基準と考えています。今後は、衛生面や作業性を上げながら質のよいジビエが効率よく供給できるよう、指定管理者と協議していきます。

問 ジビエ加工処理施設の受け入れ条件について伺います。

答 受け入れの可否や搬入時間の調整を行うため、電話による予約が必須になっています。受け入れは、止差し後30分から1時間程度以内で搬入できるものが対象となり、止差ししないで搬入することはできません。

問 館山市と他市とで、受け入れの状況に違いはあるのか伺います。

答 予約時点で収容能力を超えるようであれば、調整して他市への断わり、市内のものを受け入れます。指定管理者は他市の猟友会とも連携を密にしており、繁忙期に受け入れができない可能性があることを伝えて、トラブルがないよう対策をしています。

追加議案

定例会の最終日には、人事案件3件が追加議案として上程され、審議の結果、原案どおり可決しました。

◇議案第49号から第51号 人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了となる人権擁護委員3名について、引き続き、稲葉美恵子さん、押本一美さんを、また、新たに、豊崎きぬ子さんを適任と考え、法務大臣に推薦するものです。

発議案

◇発議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
 請願第8号の趣旨による

◇発議案第5号 国における令和8年度教育予算拡充に関する意見書について
 請願第9号の趣旨による



提案理由を説明する望月委員長



「発議案」ってなに？
 議会の会議において、議員が「議案」を議長に提出することを言います。主な発議案として、「条例」、「意見書」などがあります。

令和7年第2回 臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第32号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	—	承認 全会一致
議案第33号	館山市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	—	承認 全会一致
議案第34号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	—	承認 全会一致
議案第35号	和解について	—	原案可決 全会一致
議案第36号	館山市教育委員会委員の任命について	—	原案同意 全会一致
議案第37号	館山市監査委員の選任について	—	原案同意 全会一致

令和7年第2回 定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第38号	指定管理者の指定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第39号	三芳水道企業団規約の変更に関する協議について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第40号	館山市ジビエ加工処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第41号	三芳水道企業団の解散に関する協議について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第42号	南房総広域水道企業団の解散に関する協議について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第43号	南房総広域水道企業団の解散に伴う財産処分に関する協議について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第44号	南房総広域水道企業団の解散に伴う事務の承継並びに決算の審査及び認定の方法に関する協議について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第45号	令和7年度館山市一般会計補正予算(第1号)	総務	原案可決 全会一致
議案第46号	工事請負契約の締結について ※先議	—	原案可決 全会一致
議案第47号	館山市職員給与条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	—	承認 全会一致
議案第48号	非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第49号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
議案第50号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
議案第51号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
発議案第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	—	原案可決 賛成多数
発議案第5号	国における令和8年度教育予算拡充に関する意見書について	—	原案可決 全会一致
請願第8号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	文教民生	採択 賛成多数
請願第9号	「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	文教民生	採択 全会一致



令和7年第2回臨時会・定例会 議案等の賛否 賛否が分かれたもののみ掲載

(○:賛成、×:反対)

議員名	東洋平	渡辺雄二	安田邦春	本澤栄里子	鈴木明子	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	石井敏宏	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	石井信重	鈴木正一	秋山光章	鈴木順子
発議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長	○	○
請願第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○

一般質問

は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

年齢は
8月1日現在



東 洋平 議員
1期目・40歳・長須賀市民クラブ
(文教民生委員会委員)

コミュニティ行政への移行

問 公民館行政からコミュニティ行政への移行について、市の考え方を聞かせてください。

答 今回の公民館再編計画は、あくまで公民館の役割と機能強化の視点で検討を進めており、地域コミュニティまでは具体的に考慮されていません。ただし、公共施設の機能複合化によって、その施設が地域コミュニティの重要拠点となり、地域の人たちの交流が生まれ、自主的な活動につながることを期待しています。

解説 全国各地で、公民館を住民が使いやすいコミュニティセンターへ移行する動きが活発化しています。「コミュニティ行政」への移行には、施設再編だけでなく、住民が主体的に参加できる体制づくりがセットであり、その「お膳立て」までは行政の役割だと要望しました。

まちづくりと

公共交通

問 本市の施策における「まちづくり」という用語は、どのような範囲や価値観を内包しているのかお示しください。

答 「まちづくり」とは、地域の産業振興、福祉、教育、都市整備、文化等について、「持続可能で魅力ある地域社会を形成するための取組」全般を指します。これからは行政だけでなく、市民、各種団体、民間事業者など、多様な主体との連携が不可欠であると考えています。

解説 まちの大部分は、市民の住宅、民間事業、地域活動などで構成され、市民が動かなければ「まちづくり」は「つくる」という動的な行為として成立しません。自治の研究では、まちを形成するコミュニティの単位は旧小学校校区程度が妥当とあります。住民が当事者意識をもって関わる仕組みとして総務省の「地域運営組織」を提言し、その具体的な取組として公共ライドシェアを取り上げました。



鈴木ひとみ 議員
2期目・66歳・佐野新政クラブ
(総務委員会委員長)

職員数の変化と

働き方改革

問 人口減、少子高齢化が進み、職員採用も困難になっていく中、限られた職員で必要な業務を行うために、業務の効率化をどのように図っていくかを伺います。

答 業務の見直しやDXの推進など、時代に即した業務改善、効率化が必要であり、そこに向き合う体制づくりや職場環境の改善を、生産性の向上と合わせて進めていきたいと考えています。また、組織改革に着手し、全庁をあげて検討を進めています。

解説 労働力人口の減少に伴い、大手企業をはじめとして、人材確保に躍りになっており、市役所職員の採用も困難な時代です。人口減少に伴う税収減により、職員数の維持も難しくなります。一方、求められる業務はますます多様化、複雑化しています。必要な住民サービスを続けるためには、無駄をなくし、業務を効率化していくことが不可欠です。

国道の整備と フラワーライン周辺の 施設整備について



植栽帯と歩道の整備に期待

問 フラワーラインの海側の植栽帯を撤去することを県から提案されていると聞きますが、話し合いの状況を伺います。

答 県は館山市と協議・調整した上で方向性を決めたいとのこと、市としてはフラワーラインが観光資源としてはもちろんのこと、景観上も大変重要であることに鑑み、海側の植栽帯の存続の可能性も含め、今後の方向性について県と協議していきます。

解説 道の両側に花が咲くフラワーラインは館山の観光資源としてとても大切なものですが、現在は草が繁茂した状態です。歩道の拡張、自転車道の整備、維持管理費の高騰を理由に県から海側の植栽帯の撤去が提案されていますが、予算の削減も大きな目的と考えられます。この地域を観光地としてどう作っていくか、そのために必要な予算を県と話し合う場を市が積極的に求めていってほしいと考えます。



佐野 聖一 議員
2期目・50歳・波左間
市民クラブ
(建設経済委員会副委員長)

高等学校との

教育活動連携協定

問 高等学校との教育活動連携協定について、具体的な取組内容と進捗状況を伺います。

答 各校の特色ある教育活動を支援する一方で、地域の担い手として大切な存在である高校生に、地域の活性化に向けた取組に主体的に参画していただくこととなりました。支援について一例を挙げますと、進路選択の視野を広げつつ、キャリア教育の一環として地方と都市のつながりを創出することを目的とする企業見学について、連絡調整や随行など、可能な範囲で協力しています。

また、地域の活性化に向けたまちづくりへの参画として、次期総合計画の策定にあたり、市内の高等学校に通う生徒2名に総合計画審査委員会を務めていただいています。

今後引き続き各校の特色ある教育活動が展開され、地域の担い手となる人材育成を図るため、安房3市1町及び高等学校6校との連携による取組を進めていきます。

解説 特色ある教育活動の一つとして、館山総合高校では、生徒会を中心に自転車乗車用ヘルメットの着用推進活動を展開しています。ヘルメット着用は努力義務となつていますが、今後、他校にも波及し、「命を守る」こと「交通安全の意識向上」につながることを期待します。生徒主導の活動に対し連携し、積極的に支援することは大切だと思います。

今後の妊婦健診

問 妊婦健診について今後、更に助成していくべきと考えますが、いかがですか。

答 館山市は国の基準に従い、妊婦1人当たり10万9千円を公費負担しています。現在のところ更なる助成は考えていません。

しかしながら、安心して妊娠・出産ができる環境を作っていくことは、非常に大切であると認識しています。妊娠・出産に関する困りごとを、いつでも気軽に相談してもらつたためには、ご家庭と保健師の信頼関係が大切であり、保健師が寄り添う姿勢を大切に対応しています。

解説 更に安心して妊娠・出産ができる環境作り、自己負担費用の軽減、また、より一層相談しやすい環境作りを要望しました。



鈴木 順子 議員
9期目・75歳・上真倉
じゅん風
(文教民生委員会委員)

戦後80年 平和学習の取組

問 今年は戦後80年を迎えますが、戦争の悲惨さを語り継いでいくうえで、戦争を知る世代が少なくなり、高齢化していることに伴って、平和の尊さを若い世代に引き継いでいく必要があります。そのため中学生を広島、長崎に派遣し、平和を学んでいくことを検討したらどうでしょうか。

答 館山市の小中学校では、子どもたちが授業を通じて戦争や人権、命の大切さを学び、平和な社会を築くための貴重な人材として、成長することが期待されています。市内には赤山地下壕跡など多くの戦争遺跡が存在しており、これらの見学を通して戦争の悲惨さや、平和の尊さを感じる事ができますが、被爆地である広島、長崎は戦争や核兵器の悲惨さを

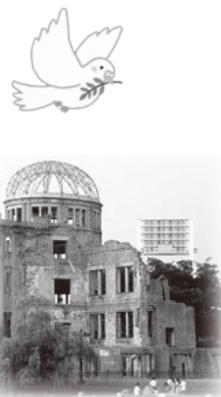
伝える重要な場所です。中学生には、被爆地に赴くことで平和の尊さを理解し、平和を守る責任を自覚し、学んだことを周囲の人たちに伝えることで波及効果を得られるものと考えます。平和学習の一環として中学生を広島、長崎へ派遣することについて、調査・研究していきたいと考えます。

解説 中学生の被爆地への派遣については、県内で多くの自治体が行っています。派遣に参加した中学生が、市で行う平和事業において、語り部として活動している自治体もあります。また今年には戦後80年ということもあり、沖繩への派遣に取り組んだり、親子での派遣を行うなど様々な取組を行っています。館山市の中学生の広島、長崎への派遣を行うよう期待したいと考えます。

災害時のトイレカー導入

問 災害時のトイレカー導入について、再検討を願いますが、いかがですか。

答 トイレカーの利便性については認識していますが、導入経費が高額なほか、効果的な運用に検討が必要なことから、導入に至っていません。



原爆ドーム
(広島市HPより)

解説 国からの緊急減災事業債が、令和7年度申請できなかったこともあり、今後の国の支援に注視していただきたいと要望します。



渡辺 雄二 議員
1 期目・52 歳・八幡
日本共産党
(文教民生委員会委員)

心身障害者医療費支給条例改正 その後は?

問 条例改正可決後の市民の反応と対応について伺います。

答 館山市心身障害者医療費支給制度については、昭和48年の制度開始以降、見直しを重ねながら現在に至っています。中軽度を対象にする館山市の単独事業については財政的な面からも、制度を継続することは新規の事業はおろか、既存事業の継続へも大きな影響を及ぼすことが見込まれるため、見直しを行うこととしました。

次に、条例可決後の市民の反応については、通知発送後の最初の週3日間で約100件程度の問い合わせをいただきました。その中で、制度改正への明らかな苦情的な意見は4件ほどで、その内容は、「制度がなくなると困る」、「意見を聞いてほしかった」というものでした。一方で、肯定的な意見として、「補助がなくなることは大変だが、基幹相談支援センターができ



るなら、家族のためにもそちらの方がいいのではないかと」の意見もいただいています。

また、市民への対応については、制度改正の対象となる約800名の方へ個別で通知を行ったほか、広報「だん暖たてやま」5月号で制度改正の内容について掲載し、各心身障害者団体にも直接お会いして説明を行っています。3月の第1回定例会における議員の皆様からのご指摘にも、丁寧な対応を心がけ、制度改正の周知に努めています。今後も、対象者と真摯に向き合い、意見を聴くことを心がけ対応していきます。

解説 昭和48年に制度が始まりました。その後の館山市の財政が苦しい時も、現在まで守り続けてきた制度です。

行政の役目は住民の福祉を守ることです。制度の存続を求めます。



石井 敏宏 議員
4 期目・53 歳・上真倉
緑風会
(総務委員会委員)

幼稚園・保育園・こども園 公私一体の再編を

問 幼稚園・保育園・こども園の全体における再編は、公立だけでなく、私立も考慮に入れて行うべきだと思いますが、いかがでしょうか。

答 私立の園は、公立の園とともに、地域の保育需要を担う重要な存在であり、民間の柔軟な運営や独自性を活かし、多様な保育サービスを提供しています。

一方で、地域の保育に対するニーズに対応しながら、少子化や施設の老朽化、館山市の財政状況などを勘案した上で、保育体制の最適化を図っていくためには、公立の園と私立の園を一体的に考え、保育施設の需要と供給のバランスを取る必要があると考えています。

問 私立に関しても、定数割れで困っている園に関して、市がある程度関与すべきと思いますが、市でできる改善案があれば伺います。



答 こどもの少ない私立の園に対し、市ができる改善策については、私立園の職員に対し、館山市の保育教諭職員対象の研修への参加を呼び掛けることや、先進事例の紹介などにより、保育の質の向上を図ること、園の魅力向上につながり、利用者の増加のための取組を支援できると考えています。他にも、館山市の広報紙やホームページ、SNS等で私立園の魅力や空き状況を発信し、保護者への認知度向上を図ることも支援策の一つであると考えています。これらの支援を組み合わせて、私立園の経営安定と地域の子育て環境維持を図っていきたくと考えています。



鈴木 明子 議員
1期目・65歳・山萩
公明党
(総務委員会副委員長)

館山市子ども計画

問 計画策定のニーズ調査と、今後の取組について伺います。

答 未就学児と小学生を持つ保護者1千980世帯と、子どもからの視点と計画を取り入れるため、小学校5年生280名と、中学校2年生320名を対象に、インターネットサイトを活用しアンケートを行いました。今後は、館山市の全ての住民が子育てを温かく応援するまちづくりを念頭に、社会全体で子どもと若者の未来を見据えた、持続可能な支援体制の構築に努めます。

解説 国の「子ども大綱」は、国連の「子どもの権利条約」の趣旨を反映し「子どもが意見を表明する権利」を柱の一つに掲げています。アンケートでは公園の整備と放課後に友達との会話や勉強・読書など自由に過ごせる場所・施設の要望や、雨天でも遊べる施設の要望が多く寄せられました。保護者の意見では、土日祝祭日の教育・保育事業の利用と、終了時刻を18時以降とする希望が多いことが分かりました。これらの貴重な意見を反映し、子どもたちの笑顔が輝く環境づくりの推進を求めました。

女性活躍推進について

問 「館山市役所働きやすい職場づくりのための行動計画(第2期)」、女性職員の活躍推進に関する特定事業「主行動計画」に基づき、女性管理職登用における現状と課題について伺います。

答 男女の区別なく、個々の能力により管理職登用を行っているが、年代によっては女性職員の割合が低い場合があり低調となっています。近年ではワークライフ・バランスの高まりから、必ずしも昇進昇格を望まない職員が男女問わず増加しています。

問 女性活躍推進の取組について伺います。

答 男女ともに育児休暇などの制度を取得しやすい環境の実現に向け、限られた人員の中で複雑・多様化する業務に対応するための職員相互の協力体制を、全庁的な組織改革に基づき検討しています。

解説 市民ニーズや環境は刻々と変化し多様化しているため、計画、立案決定に女性の視点は非常に重要です。更に災害発生時の避難所運営や事前準備などにも女性の視点は欠かせません。そのためにも、更なる女性職員の管理職登用を求めました。



瀬能 孝夫 議員
4期目・67歳・佐野
公明党
(建設経済委員会委員長)

電子投票の導入

問 電子投票の導入について伺います。

答 電子投票には開票作業に係る職員の数を減らせること、開票時間が短縮できること、疑問票が解消され、無効票が無くなるなど様々なメリットがあります。

一方で、機器やシステムの安全・安定性への疑問、視覚障がい者への配慮が不十分、全国的に普及していないため費用が高額、電子投票の適用が地方選挙のみであるなどデメリットもあります。市選挙管理委員会としては、他団体の動向等を注視していきます。

解説 電子投票は当初、全国的な普及が期待されましたが、機器のトラブルが原因で投票が無効となった事実が発生したことで、導入の機運が一気に後退してしまいました。しかし、四條畷市では全国で8年ぶりとなる実施の意向を議会に提案し、電子端末は高額ですがメリットも多く認められることから議会も導入を承認しました。そうした経緯や背景等につ

いて、本市としても将来へ向け検証する意義は大きいと感じます。

子ども食堂について



問 子ども食堂への行政支援について伺います。

答 市内には4か所の子ども食堂を把握しています。当初は子どもの貧困対策として食事の提供を目的に動き始めたものが、今では幅広い意味合いを兼ね備えた居場所としても発展してきていると認識しています。ボランティア活動の自主・自立性を重視・尊重した上で、必要なサポートを行うという形で携わっていきたいと思います。

解説 民間の自主的活動で運営されている子ども食堂に対して、行政としてどの様な支援ができるかを論点として「利用したい人への支援」、「運営団体への支援」、「個人・企業等からの寄付やボランティア参加を希望する人への支援」など、3つの角度から議論しました。今後の具体的な支援のあり方につながる提案を心がけました。



安田 邦春 議員
1期目・58歳・船形
青海原
(建設経済委員会委員)

ふるさと納税と 廃校利活用で 財政健全化を目指す！

問 ふるさと納税指定基準の見直し、募集適正基準の改正と、地場産品基準改正について伺います。

答 ポータルサイト等で寄附した際のポイント付与が、令和7年10月1日から禁止されることになりました。

また、地場産品として提供できる宿泊券は、寄附を行った地域に関連するものに限定されることや、返礼品の製品価値の半分以上が返礼品を提供する地域内で行われていることの証明が義務化されました。

解説 これからのふるさと納税返礼品は地元のものを活用し、地元で製造することに価値があると思います。大切な地場産品を活用して、館山らしいふるさと納税返礼品（製造品、体験型など）を開発していかなくてはならないと思います。

問 これから統廃合で増える廃校の利活用について伺います。

答 館山市では平成29年6月に策定した「館山市公共施設等総合管理計画」において、公共施設等の整備・管理に関する基本方針に基づき、将来の人口規模や財政状況を見据え、中長期的な視点による施設の更新、統廃合・長寿命化などを計画的に実施することとしています。

廃校となる学校施設については「公共施設の統廃合」、「施設機能の複合化」、「民間や地域活性の導入」を基本方針として、効果的な利活用の方策を検討することとしています。

また、利活用の方策の検討に当たっては、「跡地活用を考える会」の設置やアンケートを実施するなど、市民の皆様の「意見を伺いながら進めていきたい」と考えています。

解説 市の財政再建、健全化を図るため、ふるさと納税を増やすための返礼品の強化が重要です。廃校を活用して、地域の一次産品を活用した返礼品を作るための加工施設など、幅広く各教室を活用すれば、新規創業者や雇用創出につながると考えます。また、これらで生まれるお金を廃校を維持していくための経費とすれば、空いている教室を地域に開放し、コミュニティの場として、防災の場として、地元に必要な核として残すことができます。

市議会見たい・知りたい

YouTube 市議会を動画配信



本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画で視聴できます。

LINEで 簡単に情報GET



館山市の公式LINEを登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。

議場で傍聴 9月定例会の日程（予定）



開会日：9月1日（月）午前10時～
一般質問：9月4日（木）午前10時～
 9月5日（金）午前10時～
（予備日）：9月8日（月）午前10時～

表紙写真募集！

たてやま議会だより



☆写真のテーマ

館山市内で撮影された季節が感じられる写真
例) 四季折々の風景・祭りなど

☆応募資格

どなたでもご応募できます

☆応募方法

必要事項記載のうえ、画像を添付し、送付先までメールでお送りください
(データ容量1～3MB)

☆必要事項

- 作品名
- 撮影者の・住所・氏名・電話番号
- 撮影場所・年月日
- 作品のご説明

☆送付先（議会事務局メールアドレス）
gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

**正副議長としての功績を称えて
～全国市議会議長会から表彰～**

太田浩前議長が、正副議長として5年にわたり市政の振興に努めた功績により、全国市議会議長会から表彰され、6月6日の本会議において鈴木正一議長から表彰状が伝達されました。



太田浩 前議長 鈴木正一 議長

**千葉県南市議会議長会総会
～館山市で開催～**

5月28日、館山市内において「令和7年度千葉県南市議会議長会総会」が開催され、鈴木正一議長と倉田孝浩副議長が出席しました。また、来賓として石井博臣副市長にご臨席いただきました。

館山市議会議長は、令和6年度は副会長（写真左）でしたが、令和7年度は会長として、県南の13市議会をまとめていきます。

千葉県南市議会議長会総会



鈴木正一 議長（左）と 石井博臣副市長（右）

【ご案内】

**議会報告会を開催します
ご来場お待ちしております**

日程：10月25日（土）
時間：午前の部 10時～
 午後の部 14時～
 午前・午後どちらも90分程度
場所：館山市役所2階会議室

Q & A

議会報告会って何をするの？

- ☑ 市民の皆様へ議員が直接報告します！
・議案審査の説明と報告
- ☑ テーマについて意見交換を行います！
・テーマは決まり次第お知らせ

詳細は、市議会ホームページや市の公式 SNS、チラシ等でお知らせします。

編集後記

この度、市議会副議長という要職を拝命すると共に、広報広聴委員会の委員長という重責を担うことになりました。市民の皆様へ議会活動をより身近に感じていただき、議会への関心を高めるために、議会だよりを通して、より一層市民の皆様へ開かれた議会を目指し、議会と市民の皆様とのコミュニケーションを促進できるように精一杯努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

（倉田孝浩）

【広報広聴委員会】

- 委員長 倉田孝浩
- 副委員長 東 洋平
- 委員 安田邦春 佐野聖一
- 鈴木ひとみ 石井敏宏
- 瀬能孝夫 秋山光章



※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで電話またはメールでご連絡ください。

（番号及びアドレスは下記参照）

